

シンポジウム「MUレーダー観測10年」のお知らせ

1990年以来、年1回開催されている標記の合同大会（今回は3月27～30日で主催は日本地震学会、日本火山学会、日本測地学会、日本地球化学会、日本惑星科学会、日本岩石鉱物鉱床学会、地球電磁気・地球惑星圏学会、日本鉱物学会の8学会）において、日本気象学会は従来通り関連したテーマのシンポジウムを共催する形で参加します。そのうち「MUレーダー観測10年」と題するシンポジウムについて以下に御案内しますので、興味を持たれる方々の御来聴、ならびに討論への御参加をお願いします。

日時：1995年3月28日（火）13:15～16:30

場所：日本大学文理学部

（〒156 世田谷区桜上水3-25-40）

新宿より京王線下高井戸または桜上水から徒歩10分

内容：世界最高性能の大気観測レーダーとされるMUレーダーが完成して、1994年11月に10年を経過しました。これまでに中層・超高層大気を中心に大気圏全高度域にわたる様々な発見がもたらされていますが、それらが大気科学、超高層物理学にどのようなインパクトを与えたか、これまでの成果と今後の展望について論じます。プログラムは、内外の関連研究者による招待講演とコメントで構成されます。

コンピーナー：

深尾昌一郎（京大超高層、地球電磁気・地球惑星学会運営委員）

木田 秀次（京大理、日本気象学会理事・地球惑星圏学会連絡会担当）

招待講演者と内容予定：

加藤 進（バンドン工大、京大名誉教授）：
歴史（15分）

B. B. Balsley（コロラド大学）：
レーダーハードウェア（25分）

浅井 富雄（広大総合科学、東大名誉教授）：
対流圏/下層大気（25分）

廣田 勇（京大理）：中層大気（25分）

R. T. Tsunoda（スタンフォード国際研）：
電離圏擾乱（25分）

H. Rishbeth（サザンプトン大）：
電離圏構造・力学（25分）

木村 磐根（京大工）：工学的応用（25分）

津田 敏隆（京大超高層）：
現状と将来展望（15分）

コメンテーター：

住 明正（東大気候システム研）

宮原 三郎（九大理）

田中 浩（名大大気水圏研）

小川 忠彦（通総研）

問い合わせ先：

深尾昌一郎（〒611 宇治市五ヶ庄 京都大学超高層電波研究センター）

Tel：0774-33-5343, Fax：0774-31-8463

E-mail：fukao@kurasc.kyoto-u.ac.jp